

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公表番号】特表2002-511584(P2002-511584A)

【公表日】平成14年4月16日(2002.4.16)

【出願番号】特願2000-543821(P2000-543821)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/447 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 27/26 3 1 5 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年8月21日(2009.8.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 3 】

仕切り板プレート 8 4 は、リテイナープレート 8 6 の側面および底部周囲に沿って、周囲リッジ（図示せず）に固着されて、電気泳動ゲル（図示せず）を保持するための内部ゲル隔室 8 8 を規定する。ゲル隔室 8 8 は、電気泳動的に分離すべき試料を受容するためのカセットの上部にて、コーム開口部（c o m b o p e n i n g）9 0 を有する。開口部 9 2 は、仕切り板プレート 8 4 の下部に沿って位置し、ゲルカセット 1 6 および 1 8 の各々の横幅を横断しており、開口部 9 2 は、ゲル隔室 8 8 を、このカセットの外部へ開く。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 4 】

本願に適切なゲルカセットは、当該技術分野で公知である。典型的なゲルカセットでは、ゲルは、取り扱いを簡単にするために、この内部ゲル隔室内に予め充填されている。コーム開口部 9 0 は、コーム（c o m b）（図示せず）で閉じられ、そして開口部 9 2 は、取り外し可能テープ（図示せず）で閉じて遮蔽される。本願に適切なゲルカセットの一例には、Novel Experimental Technology, Incorporated (San Diego, California) から販売されている 12 % T r i s - グリシンゲル (Catalog No. EC 6 0 0 5) がある。類似の型のゲルカセットもまた、他の企業から市販されている。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 7 】

ゲルカセット 1 6 および 1 8 の使用前に、このコーム（図示せず）およびテープ（図示せず）は、取り除かれる。分析される試料は、適切な手段（例えば、ピペット）により、コーム開口部 9 0 を通って、ゲル隔室 8 8 へと導入される。バッファコアアセンブリ 2 4 は、次いで、容器 1 2 の内側のライザー 1 0 4（その 1 個は、図 5 で示されている）上に

載せるために、容器 1 2 の上部から、壁溝 4 4 および 4 6 へと滑り可能に挿入される。ライザー 1 0 4 は、バッファコアアセンブリ 2 4 を上昇させて、第一緩衝液がバッファコアアセンブリ 2 4 の前側および後側の下側を通過してそれらを取り囲むことができるようにする。バッファコアアセンブリ 2 4 は、次いで、ゲルカセット 1 8 の側面リッジ 1 0 2 が、垂直リッジ 4 8 および 5 0 と一致して整列し、もたれるように、容器 1 2 の前壁 2 6 に向かって移動される。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 0】

適用の際には、バッファコアアセンブリ 2 4 およびカム装置 2 2 は、まず、上記の様式で、容器 1 2 内に固定される。第一緩衝液は、ゲルカセット 1 6 および 1 8 のコーム開口部 9 0の上で、上部バッファチャンバ 5 2 に分配されて、これらのゲル隔室内のゲルとの流体接触を確立する。第二緩衝液は、次いで、そのレベルが、大体、ビーム 6 4 のレベルになるまで、容器 1 2 に導入される。蓋 2 0 は、次いで、容器 1 2 の前部の上に位置づけられ、その導体ケーブルは、電源システムまたは荷電手段（図示せず）に装着されて、電気泳動が開始する。